

電友会だより

(発行日)

令和四年

三月一日

(発行責任者)

鹿目 忠明

会長あいさつ 「ネバーギブアップ」

会長 鹿目 忠明 (昭和四十年卒)



つくしは頭を出したでしょうか。ようやく春を感じられるようになってきました。会員の皆様におかれましてはお元氣にお過ごしのことと存じます。電友会活動・運営に格別のご支援をいただき厚く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん「卒業おめでとうございます」それぞれ自分の目標に向かってくじけることなく進んで下さい。

十八歳で選挙権があり、商行為も自由にできます。少年A・少女Bはなくなります。世の中はどんどん変化しています。

IT技術の進歩はめざましい勢いで進んでいます。デジタル庁ができ、アナログからデジタルに置き換わろうとしています。私の家の電力量計もスマートメーターになり検針不要です。使用料は電力会社のホームページへネットで接続して自分で確認しなければなりません。私の仕事である電気保安の分野では役所への申請手続きが電子申請となり、押印が減っています。

電気主任技術者試験(電検)は年2回実施となり、関連の実務経歴年数などが緩和されるようになりました。大学入試科目に情報が入るようです。

あちこちの業種で人出不足が問題になっています。とりわけ理系分野は深刻なようです。後継者がいない。若い人が入ってこない。このままでは事業継続ができない。と頭を抱えています。

デジタル化・脱炭素化の為の再生可能エネルギー導入拡大はますます進んでいくものと思われれます。

世の中はいつでも変化しています。この変化に対応していかなければなりません。ダーウィンの進化論にも出てくるように、強いものが生き残るのではない。変化に適応したものが生き残れる。

毎日、少しずつ学習して下さい。進むだけでなく時には後戻りも必要です。歩みを止めなければ必ず頂上へたどり着けます。

商取引が自由にできると言うことで、オオカミに狙われています。うまい話は危ないと思ってください。契約は誰かに相談してからにする。それができないときは契約しない。

ご両親やお家の人に、「ひとり生きていけるよ」と胸を張って言えるようになってください。無用な心配をかけないことが親孝行です。

全国各地に同窓生がいます。積極的に声をかけ、自己紹介してください。必ず力になってくれます。将来は、会工同窓会にあなたの力を貸して下さい。次の後輩のために。



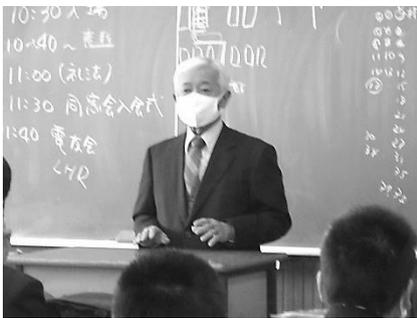
会工電友会の活動報告&母校の近況

卒業生への記念品贈呈

令和3年(2021年)2月26日(金)、卒業生の会工同窓会入会式の当日、電気科卒業生へ卒業記念品(卓上電波時計)を贈呈し、電友会だよりを提供しました。電気科卒業生に対する記念品贈呈は、会工電友会の事業として永年継続実施しています。



門出に相応しく
春の陽光が眩しい、
学び舎で卒業生代表に
記念品を贈呈しました



鹿目会長挨拶



司会の電気科 志田主任(中央右)

コロナ禍で活動自粛・定例総会の中止

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見ないことから、会員の皆様の健康と安全を考慮し、活動予定の「史跡探訪」「施設見学会」を自粛しました。

さらに、令和3年10月に予定しておりました「第27回定例総会」も中止しました。2年連続の中止で誠に残念です。今回の総会は役員改選期でしたが、全役員再任とさせて頂きました。ご理解賜りますと共に、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

「電気情報科」が新設されました 令和3年(2021年)4月

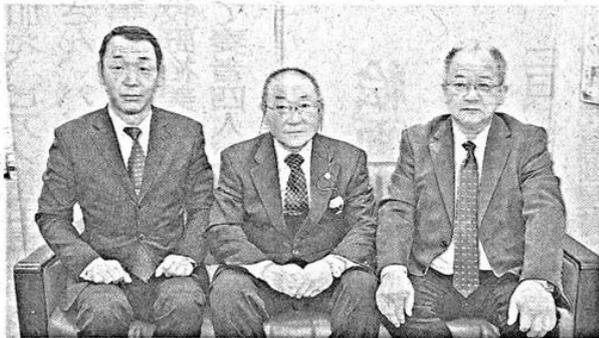
昭和23年4月学制改革により新制高等学校発足、福島県立会津工業高等学校と校名を変更すると同時に電気通信科を電気科に科名変更(創立110周年記念誌・会工賛歌の沿革参照)、平成元年4月に設立された情報技術科の両科を募集停止し、令和3年(2021年)4月に「電気情報科」が新設されました。

「電気情報科」の1年次は、共通履修。2年次から『電気エネルギーコース』と『情報テクノロジーコース』に分かれ履修します。

電気エネルギーコースは、電検三種の認定校を継続し、発送配電・電気設備や電気機器に関する知識・技術を学びます。情報テクノロジーコースは、ICTやIOTを活用した情報通信技術に関する知識・技術を学びます。



電気情報科 開科式



来年10月120周年式典

会津工高実行委員長に浅田氏

来年の創立120周年に向けた思いを語る（左から）高梨、浅田、木村の3氏

会津若松市の会津工高同窓会本部は二〇二一（令和三年）年度総会を書面評決で行い、新会長に浅田誠筆頭副会長を選んだ。任期が二年。同校は来年、創立百二十年記念式典を同校体

十周年を迎える。浅田会長は記念事業実行委員長を兼任する。

浅田会長は福島民報社の取材に対し「百二十年の節目を、学校の発展と生徒教育の充実に向けた機会とした」と語った。木村洋一幹事長、高梨哲夫校長が同席した。

実行委員会は来年十月十五日に創立百二十年記念式典を同校体

（注）昨年末の記事です

福島民報

令和3年（2021年）

12月6日掲載

※同窓会本部 浅田会長（S43E）

令和4年（2022年）

創立120周年

※記念行事

令和4年（2022）10月15日

※記念誌出版

※同窓会総会を同日開催

ホームページ

aizu-th.fcs.ed.jp/ceremomy120

デザイナーと生 会津工高 制服一新へ打ち合わせ



松倉さん（左から2人目）と新制服のデザイナーについて話し合う生徒会のメンバー

育館で行う。記念行事として講話や祝賀会を催し、記念誌を出版する。

会津若松市の会津工高は二〇二二（令和四年）年度の創立百二十年（昭和四十二年）に男

女共学となつてから初めての改定。

生徒会が中心となり、日本航空や伊勢丹など大手企業のユニフォームを多数手掛けたデザイナーの松倉久美さんと話し合いを重ねている。同校での打ち合わせでは、女子のスカートやネクタイの色など細部について意見を出した。

五十嵐理貴生徒会長（三年）は「自分たちは着られないが、それだけにこだわりたい気持ちがある。落ち着きがありながら、今じゃないと着られないようなフレッシュな制服にしたい」と話している。

《会工 電気科からの寄稿》

「今年度の電気科の状況」

電気情報科 兼 電気科主任 志田 博隆

電友会の皆様方には日頃より大変お世話になっており、感謝申し上げます。今年度より、少子化による学級数減に伴い、昭和二十年四月に設立された電気科（前電気通信科）、平成元年四月に設立された情報技術科を募集停止し、電気情報科が新設されました。昨今のコロナ禍の影響による働き方の見直し、AI・IT化の目覚ましい進展により、情報技術者のニーズは一層高まっております。また、人間が生活する上で「空気」、「水」の次に「電気」が必要と比喻されるほど、電力産業は欠かせないものとなっております。電気情報科では、これまでの電気科の学び、歴史を継承しながらも、これからの時代をリードする産業人の育成を目標に掲げております。

関係学科である電気科2・3年生、電気情報科1年生は、勉強に資格取得、部活動、生徒会行事に明るく積極的に取り組んでおります。関係職員と活動実績は次のとおりです。

【電気情報科職員】 ★は今年度着任 Eは電気科、Iは情報技術科

E志田博隆（主任）／★I遠藤悠（副主任）／I真田郁夫／

★I海和寛／E永倉良正（電気科2年担任）／

I菊池研吾（電気情報科1年担任）／E鈴木大樹（電気科3年担任）

★E斎藤啓／★E佐々木夏海／E中丸淳／★I池田政人／

★I境拓哉

【電気科進路状況】 ※十二月末現在

就職内定者 二十九名（県内企業 九名、県外企業 二十名）／公務員 二名／四年制大学 五名／専門学校 一名／未定 一名
今年度も本校電気科には、県内外より多くの求人をいただき、生徒の希望進路へ結びつけることができました。今年度の電気科三年生は八十四％が就職を希望しており、例年と比べても多い状況でした。勤務地の希望は関東圏が最も多く、半数以上の生徒が電力需給に係る職種を選択しております。電気科で取得した国家資格を活かしたい、社会インフラを支えたいという思いが強く、内定をいただくために熱心に準備をする様子が見受けられ、無事に成果として表れたことにうれしく感じます。これからの社会での活躍を期待しているところです。

【主な資格取得状況】

○第二種電気工事士（電気情報科一年生全員、電気科二年生未取得者）

合格者 四十五名（一年生 三十八名／二年生 七名）

○第一種電気工事士（電気科二・三年生希望者）

合格者 十二名（二年生 十名／三年生 二名）

○2級電気工事施工管理技士補（電気科二・三年生希望者）

合格者 二十名（二年生 五名／三年生 十五名）

○ジュニアマイスター顕彰（電気科三年生のみ申請）

特別表彰 二名 ・ゴールド三名 ・シルバー八名

・ブロンズ二名

今年度は、電気情報科一年生において四〇名全員が第二種電気工事士の筆記試験に合格しております。放課後の課外授業はもちろんのこと、自宅での弛まぬ努力の成果だと思えます。新設学科の一期生として、これからの学校生活でのさらなる飛躍を期待しているところです。

また、今年度より制度改正が行われたことで2級電気工事施工管理技士補の資格が新設されました。それに伴い、希望する生徒を募り、放課後の課外授業をおとして多数の合格者を排出することができました。生徒の希望進路、ニーズに応えられるよう今後も継続的な指導を重ねていく所存です。

【修養会および科行事】

一学期 電気情報科開科式

電気科・情報技術科・電気情報科合同対面式

電気情報科 ライントレース大会

二学期 電気情報科一年 東北電力㈱施設見学会

電気科・情報技術科・電気情報科スポーツ大会

電気科二年 東京電力パワーグリッド㈱教育プログラム

電気科二年 全会津電気工事協同組合青年部

学生交流セミナー

電気科 課題研究発表会

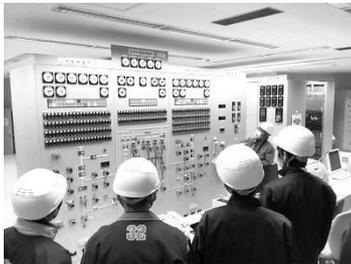
三学期 電気情報科一年 工場見学

(デンソー福島・日産自動車いわき工場)

末筆になりますが、電友会の皆様のご多幸を祈念するとともに、今後と変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



施設見学会(1年)
東北電力発電所



電気科・情報技術科・電気情報科 合同対面式

「三年間をとおして」 三年電気科 山口利旺

私が会津工業高校の電気科に入学し、三年もの月日が経ちました。長いようで短かった三年間を振り返って思うことや感じたことをここに書かせていただきます。

中学校を卒業したばかりの私たちには、先輩方がとても大きな存在に見え、新しい生活への期待と不安で胸を膨らませて臨んだ入学式を今でも鮮明に覚えています。入学して間もない状況で、国家資格である第二種電気工事士の取得に向けた学習に取り組みました。電気工学に関する専門的な知識と技術が全くない状態での挑戦となりましたが、電気科の先生方や電気部の先輩方の熱心なご指導により、一年生のうちで大半の生徒が合格することができました。放課後などの限られた時間の中で課外授業を行ってくださった電気科の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。一年生のときは、何もかもが初めての経験ばかりでした。強歩大会や球技大会など、学校行事も数多くありましたが、その中でも最も印象に残っている行事は、応援歌練習です。最初はとても緊張していましたが、いざ始まると先輩方がすごくかっこよく見えました。

一年生は中堅学年として先輩を支えながら後輩を引っ張っていく立場となり、毎日がとても大変でした。二年生での大きな行事は遠足でした。今回は、新型コロナウイルス感染症により修学旅行が実施できなくなってしまう、遠足という結果となってしまいました。自分たちではなかなか行くことができない場所への遠足が実施できてとても良い思い出になりました。

三年生では、最高学年として、進路実現に向けて一日一日を大切に生活しました。そして、それぞれが目標に近づくために努力した結果、多くの生徒が希望した進路を実現することができました。

私は二年間電気部に所属し、技術はもちろん、礼儀や他人に感謝することの大切さを学ぶことができました。

三年間の学校生活をとおして学んだことを忘れずに立派な社会人になろうと思います。



課題研究発表会(3年)



実習(3年) 誘導電動機



実習(3年) 高電圧

「二年間の振り返り」 電気科 二年 有本 朱生

私が会津工業高等学校の電気科に入学して、二年もの月日が経ち、四月からは最上級生となります。入学してから現在までに感じたことを振り返るとともに、これからの高校生活を有意義なものとするために抱負を述べさせていただきます。

入学してすぐに新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、一斉休校となり、不安の中で高校生活がスタートしました。例年とは違い、通常の学校生活もままならない状況でしたが、そんな中でも入学後の目標の一つであった第二種電気工事士の取得に向けて、手探りながらも学習を進めていきました。最初は何もわからない状況でしたが、授業や放課後の課外授業をとおして理解が深まり、大半の生徒が無事に合格することができました。

二年生になると感染症の対策をとりながらも本来の学校生活が送れるよう配慮した生活が求められました。そんな中で実施された修学旅行では、京都と大阪に行きました。京都ではタクシー研修で班ごとに清水寺などの観光地をまわりました。大阪では、太陽の塔やユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行きました。特に印象に残っているのはユニバーサル・スタジオ・ジャパンです。みなんでお揃いの帽子を買ったり、ハリポッターやスパイダーマンなどのアトラクションに乗りました。ハリポッターはすぐリアルで少し怖かったですが、おもしろかったです。お土産もしっかり買うことができ、充実した修学旅行を経験することができました。

三年に一度の公開文化祭では、クラス催事のために、みなんで放課後に買い出しに行き、教室の飾りつけにもこだわりました。当日は注文した景品が届かないなどのアクシデントもありましたが、多くのお客様が来てくださり、クラス企画三位として表彰を受けました。文化祭はこれまでで一番クラスが協力し合えた行事になりました。

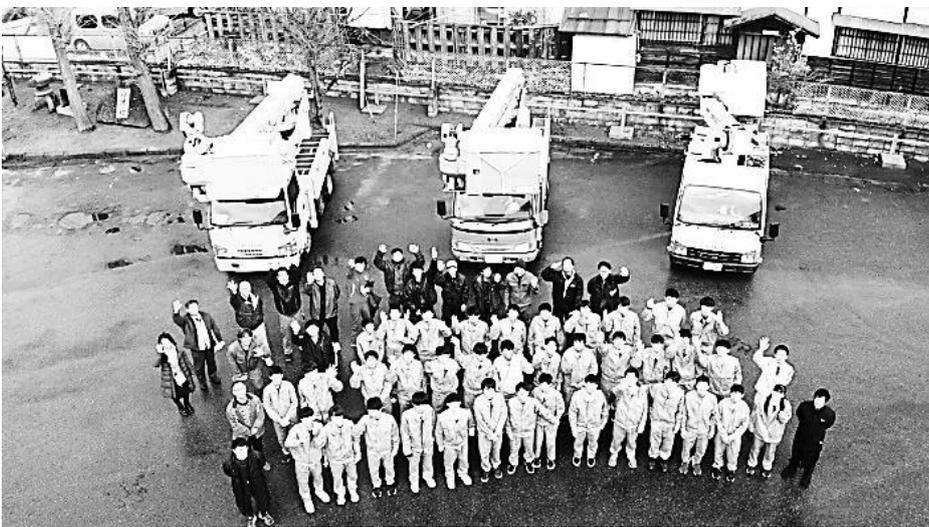
そして毎年恒例の球技大会では、種目ごとに分かれ、班ごとに作戦をしっかりと練り、優勝を目指してクラス一丸となり頑張りました。優勝こそ逃しましたが、みんながしっかりと楽しめていたので良かったです。

来年度からは最上級生となるので、下級生の手本となるように自

覚と責任を持って、しっかりと高校生活を送っていきます。卒業までの一年間は、部活動でも悔いを残さぬようやり抜き、定期考査や進路活動も乗り越えていきたいです。最後には電気科で頑張ってきたよかったですと思いき卒業できるようにしたいです。



東京電力パワーグリッド
「教育プログラム」(二年)



全会津電気工事協同組合青年部「学生交流セミナー」(2年)

《会員からの寄稿》

電気科誕生から (昭和二十六年卒・仙台市在住) 森山 敏

昭和二十年四月、電気科新設、各校から通常入学試験終了後に、新設の為の追加試験応募があり、人員は二百名を超え、四十人が新たに校門をくぐった。

太平洋戦敗色濃い時期に日立製作所等から実験機材が運ばれる予定であったが、茨城県にあるここは米軍の艦砲射撃を受け、電気実験機材は殆ど配送を受ける事は出来なかつた。想えば、当時の伴先生、渡部先生など担当教諭として大変、ご苦労されたと聞いている。したがって、電気の実験・実習は出来ずであった。主に、機械科の旋盤、ドリル等の機器操作実験や工業化学科での実験では石鹼製造工程など、半年以上が他科の実験・実習であった。遅れて一年後だろうか、ようやく、実験機材として、小型蓄電池装置、小型直流発電電動機、スライダック、可変負荷抵抗器等が入って来た。新しい機材の導入は、我々生徒を勇気づけ、皆、食い入るように、実験に取り組んだ。まさに学習の「オームの法則」がここで、実証された。

先輩らが耕地されたグラウンドは半分が田んぼと化し、残りは防空壕が掘られてあつた。若松近郊の広田、大寺などには工場もあり、敵機も何度か飛来した。度々、ボーフラの湧きそうな防空壕に押し込められた。泥水を被つた友と顔を合わせ、苦笑いした。先輩が開く、校歌・応援歌の練習は、熱い夏を迎える頃、校庭に裸足で立ち並び、下級生、新入生への格好のしごき場でもあつたろう。

やがて終戦となり、我々は併設中学生として三年を過ごし、後半の三年は高校生とし、計六年間、学び舎を一緒に送つたのでした。そして終戦処理として、再び校庭が生徒の手で整備された。

中学から高校になるころ、菊地先生が来られ、保志先生も我々の教壇に立たれた。そして、実験室・変電室が新設された。又、この転換期には他校に行くもの、他校から入る者など、生徒の多小の出入りはあつた。

併設中学時代は電気通信科、後期の高校時代は広く就職の門戸を開くため電気科と改称された。電気科一期生の卒業は昭和二十六年三月、

殆ど就職する者で、大学への進学は三、四名だったか。

三年になって先生から、朝、ラジオで日本放送協会(NHK)から、若干名技術職の応募があると伺つた。当初は東芝か日立に入りたいと思つていたが、乗ってしまった。当校から、五名入社試験に臨んだ。後で知つたことだが、各県一、二名の採用であつたようだ。ラジオ中継放送所の拡充整備、やがて来るテレビ時代への要員として配備されることになる。入社試験の問題は今でも覚えていゝる。

一、電気用語五問(熱伝対、スポラデック E層など)

二、対数計算五問

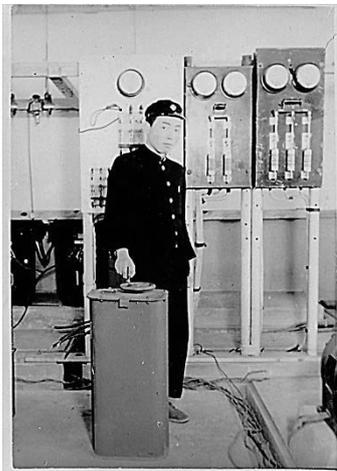
三、交流理論(交流L、C、R回路の計算)等

今では、小学高学年でプログラミングを教わる時代だからIT問題や、もっと広く問題が出そう。当時の第二級無線技術士国家試験相当の問題と思われる。今の当校生徒は学生時代に、電気工事士など各種試験を目指しており、頼もしい限りです。

最後に、「奮起」そして「挑戦」の言葉を贈つて終わります。

質実剛健の気風あふれる電気科に、永久に栄光あれ!

感謝そしてまた感謝。



新装なった変電室
交流電圧調整機の前で



実験室でのラジオ受信機の組立調整の様子

同窓会本部役員に就いている電気科同窓生の紹介

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	藤田 晴史	S40	本部選出
会長	浅田 誠	S43	本部選出
副会長	田中 健一	S42	東京会工委会長・参与
副幹事長	白井 達夫	S43	本部選出・会工電友会事務局長
幹事	渡部 昭寿	S34	本部選出
〃	近藤 信行	S40	本部選出
〃	野中 寿勝	S50	本部選出
〃	村澤 智	S62	本部選出
〃	本名 雄一	H13	近畿会工委会務局長
〃	星 秀明	S40	福島会工委会長
〃	長谷川与一	S40	猪苗代会工委会副会長
〃	佐野 常雄	S31	湯川会工委会長
〃	高橋 誠	S60	三菱マテリア若松製作所職友会会長
〃	徳永 正浩	S55	東京電力パワーグリッド猪苗代会工委会長
監事	鹿目 忠明	S40	会工電友会会長・参与
参与	石川 善一	S39	近畿会工委会長
〃	二瓶 嘉人	S39	福島会工委会長
〃	星 武	S27	前福島会工委会長
〃	佐野 容昭	S32	いわき会工委会長
事務局	真田 郁夫	S57	会津工業高校教職員

会工電友会 役員紹介
(任期 2021年10月～2023年9月)

役職名	氏名	卒年
会長	鹿目 忠明	S40
副会長	渡部 昭寿	S34
〃	成田 良	S35
監事	栗城 隆彦	S36
〃	長谷川与一	S40
会計	近藤 信行	S40
事務局長	白井 達夫	S43
庶務	菊地 進	S47
理事	大越 一郎	S35
〃	中丸 茂由	S37
〃	藤田 晴史	S40
〃	渡部 幸雄	S43
顧問	山口 健	S29
(就任順)	荒明 正義	S30
〃	根本 一雄	S36
〃	菊地 良三	S37
〃	佐野 常雄	S31

会員の増加を図りましょう！
電気科・電子科卒の知人・友人を
お誘いください。
一報をお待ちしております。
◎事務局：43E 白井達夫
t-shirai@agate.plala.or.jp
090-3753-5718

※「会工電友会」

年会費納入のお願い

会工電友会の継続と発展のために、
皆様方のご協力をお願いします。

年会費振込用紙が同封されている
会員の方は、ご協力を宜しく願
いたします。

「頑張れ応援歌」

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子

栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし

破邪の剣とりて起て 打てやこらせや

我等が敵を

勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ

奮るえや 会工の健男児

フレイ フレイ フレイ

